



朝日おかあさん新聞

10月は乳がん月間

おかあさん、
自分のからだと
向き合って

取材・文/栗田孝子(未来空間) 撮影/吉原朱美

大切なおっぱい、そして家族の幸せを守るためにも 年に一度の乳がん検診を！ 35歳から急増 ストップ・ザ・乳がん！

30歳に
なったら

乳がん検診を呼び掛けるピンクリボン運動の認知は高まっているのに、欧米諸国に比べて検診率はまだまだ低く、毎年乳がん命を落とす人が少なくありません。乳がんは早期発見、早期治療をすれば、決して怖い病気ではありません。今回は、乳がん検診の大切さを説くピンクリボンプレストケアクリニック表参道の院長、島田菜穂子さんにお話をうかがいました。

ルポ

朝ママ読者リポーターが乳がん検診を体験しました

朝ママ読者リポーター 高橋由紀江さん
(中学2年と小学5年のママ)

受診したのは

乳がん検診フルコース

※医師から当日結果報告

検査ってどんなことをするの？

乳房を自分で触って観察する自己検診だけでは分からない極小のがん(しこり)も見逃さないために、検診では、問診、触診に加え、マンモグラフィーや超音波診断装置を使った画像診断を行います。



検査の流れ

問診

iPad上の問診票に病歴、生理周期、自覚症状の有無などの情報を入力。その後は検査室に着替えてカウンセリングルームに移動し、看護師から問診票の内容の確認と、検診の流れについての説明を受ける。

乳がん検診を終えて

自分の乳房に対する関心が深まりました！
受ける前は、「マンモは痛い」というイメージしかなく、また、「異常が見つかったら…」といった不安もあったのですが、アロマの香りが流れる素敵なクリニックで、リラックスして受けることができました。



デジタルマンモグラフィーで撮影

乳房を圧迫板ではさんで薄く引き延ばし、左右それぞれ、真上から斜めからの2方向でX線撮影。しこりとして触れられない極小の早期がん(石灰化)も発見できる。おすめのタイミングは生理後。



「乳がんは女性のがん」といいますが、実は30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

「乳がんは女性のがん」といいますが、実は30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

「乳がんは女性のがん」といいますが、実は30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

「乳がんは女性のがん」といいますが、実は30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

乳がんの年齢階級別がん罹患率の推移
乳がんの罹患率のピークは40～50代だが、30代から急増していることが分かる。

(人口10万対)
180(1975年) 190(2005年)

まるでエステティックサロンのような待合室。スタッフも女性のみの心地よさ

乳がんは中高年の病気というイメージがありますが、現実には30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

「乳がんは女性のがん」といいますが、実は30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

乳がんは中高年の病気というイメージがありますが、現実には30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

「乳がんは女性のがん」といいますが、実は30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

乳がんは中高年の病気というイメージがありますが、現実には30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

「乳がんは女性のがん」といいますが、実は30代から発症する人が増えていっています。30代という子育て真っ最中で忙しい、でも、そんなときこそ、乳がん検診を受けてほしいと、島田菜穂子さんは言います。

乳がんは女性の人生に深く関わる病気です
検診でおっぱいの中にも関心をもってください



ピンクリボン運動
院長 島田菜穂子